

「(仮称) 第2次北区地球温暖化対策地域推進計画(中間のまとめ)」のパブリックコメント実施結果

1. 意見提出期間 平成29年12月20日(水)～平成30年1月24日(水)
2. 意見提出者 提出者人数(団体)5人(ホームページ2人、郵送1人、FAX1人、窓口持参1人)
3. 意見総数 37件 ※類似の意見はまとめさせていただきました。
4. 周知方法 北区ニュース(12月10日号)、ホームページ、環境課、区政資料室、地域振興室、エコ広場館、自然ふれあい情報館、みどりと環境の情報館、区立図書館

5. 提出された意見の要旨とそれに対する区の考え方

(1) 計画全般について

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
1	P9 温室効果ガス削減に関する日本の約束では、家庭部門においては約40%減という大幅な削減が必要とあります。そのためには、これからの家庭・社会を担う子供たちへのはたらきかけが大事だと思います。	1	北区においても、「第4章 課題と今後の方向性」のなかで家庭部門の二酸化炭素排出量の削減を挙げており、「基本方針4 エコ活動を支える人・コミュニティづくり」の施策の方向として、「4-2 子どもの頃からの環境教育・環境学習の推進」を定め、次世代を担う子どもたちへの環境教育の充実を図ってまいります。
2	何かを比較するときは、前提条件をそろえることが必要であり、全ての前提条件を明らかにして欲しい。	1	計画策定に使用したデータ、指標、算定方法、出典等につきましては、本編及び資料編に、可能な限り掲載しています。
3	施策別の「成果と目標」について、「策定時」が数値で表現されている指標は、「2027年度目標」も数値で設定すべきである。	1	ご意見の趣旨を踏まえ、一部の項目について数値での目標設定に修正いたします。

(2)「基本方針1 低炭素型ライフスタイル・ワークスタイルの普及」について

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
4	「1-4 ④公共交通・自転車の利用促進」は、家庭だけで取り組むものではなく、交通事業者、道路管理者、国や自治体の連携・協力なしには実現しない大きな課題である。独立項目とするか、あるいは「1-3 区民・事業者の連携の促進」に位置づけて頂きたい。	1	ご意見の趣旨を踏まえ、修正し、再掲いたします。
5	エネルギー効率からみれば、車は無駄も多いし環境負荷も他の移動手段に比べ高い。道路に関してもアスファルト舗装の照り返し等、問題が多い。IoT等を利用して信号制御をすることで、渋滞解消など環境負荷が減るので実施してほしい。	1	ご意見については、交通管理者へ申し伝えます。
6	公共交通・自転車の利用促進のためには、徒歩・自転車・公共交通で基本的な生活ができるまちづくりが必要である。具体的な施策としては、北区の地域特性である鉄軌道の利便性の高さを最大限に引き出せるよう、都市型レンタサイクルの導入や自転車走行空間の整備、コミュニティバスの導入やバス路線の再編を進め、交通空白地域の解消を目指すことが考えられる。また、公共施設の再配置においても、利用者の交通手段に十分配慮し、公共交通周辺に集約して頂きたい。	1	自転車走行空間の整備につきましては、現在策定中の「北区自転車ネットワーク計画」において検討してまいります。また、コミュニティバスなどを含む、新たな公共交通機関の導入につきましては、事業採算性の確保や民間の既存バス路線との競合を避けることなど、慎重な検討が必要と考えております。区といたしましては、区内交通手段の確保の観点から民間事業者等との連携を含めて、引き続き、総合的に検討してまいります。 都市型レンタサイクルの導入については、他自治体の導入事例
7	自転車利用環境の総合的整備の一環として、世田谷区など幾つかの区で既に導入が図られ成功している都市型レンタサイクルの導入を計画化して頂きたい。	1	を参考に、地域の実態や、利用ニーズを見極めたうえで、検討してまいります。 公共施設の再配置については、「北区公共施設再配置方針」に基づき検討を進めてまいります。
8	バリアフリーの推進に当たっては、ハード整備に加え、「心のバリアフリー」が重要である。普及啓発や区民参画の手法については先進事例を十分検討し、北区でも実施して頂きたい。	1	人的対応・こころのバリアフリーの推進に向け、それぞれの立場で計画的、主体的に取り組める事項等については、北区バリアフリー基本構想策定協議会の区民部会等で検討してまいります。

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
9	田端駅周辺のバリアフリー化と駅周辺完全禁煙化を進めていただきたい。	1	田端駅周辺のバリアフリー化につきましては、現在、策定を進めている北区バリアフリー基本構想【地区別構想 滝野川地区】の中で、具体的なバリアフリー化施策を定め、事業を推進してまいります。 また、指定喫煙場所につきましては、環境改善について検討し、関係機関と協議を行ってまいります。
10	地域福祉施策として取組まれている移動支援事業についても、交通施設のバリアフリー化や、公共交通ネットワークの構築と一体で検討し、取組んで頂きたい。	1	移動支援事業は、障害者総合支援法第77条に基づき区が指定を行う事業で、屋外での移動が困難な障害者の自立生活及び社会参加を促すため、ガイドヘルパーの派遣を行うものです。 また、日中一時支援事業利用の際の送迎として、車両移送型の支援も実施しています。利用者の個々のニーズに応じた柔軟な対応を検討していく中で、社会参加や生活の質の向上という事業の目的を達成できるよう努めてまいります。

(3)「基本方針2 省エネ・再エネ・蓄エネシステムの普及」について

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
11	二酸化炭素の排出を減らすため、「スマートコミュニティ」の考え方を取り入れたまちづくりを進めることに賛同する。 地域でエネルギーを創り、供給するシステムの導入にあたっては、地域のエネルギー消費特性に合わせ、必要な電気と熱をバランスよく高効率で創ることが必要である。 発電・熱製造（ガスコージェネレーション）システムは、高効率で発電を行うとともに、廃熱利用により、遠隔地の大型火力発電所に比べ、最大で2倍の総合効率で地域にエネルギーを供給す	1	「基本方針2 省エネ・再エネ・蓄エネシステムの普及」において、まちづくりの機会を捉えて、蓄電池や燃料電池等を総合的に組み合わせたスマートコミュニティや自立・分散型エネルギーシステムの構築等について検討を進めていくこととしています。 ご意見を参考とさせていただき、コージェネレーションシステムについて、導入を検討するシステムの一例として、計画に記載させていただきます。

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
	<p>ることができる。さらに、必要に応じて発電量を変えることができるため、蓄電池がなくてもエネルギー管理が可能なこと、燃料電池を組み合わせることができるなどの特徴がある。震度7の地震にも耐えられ、非常時にも自立した電源を確保でき、地域の危機管理レベルを大幅に高めることができる。</p> <p>高い省エネ性に加え、自立分散型システムとして多くの優れた特徴を持つガスコージェネレーションを「基本方針2 省エネ・再エネ・蓄エネシステムの普及」の中で位置づけ、その導入を推進することを提案する。</p>		
12	<p>省エネ・再エネ・蓄エネシステムの導入における経費の一部の助成について、引き続き支援をお願いしたい。家庭用燃料電池（エネファーム）は一次エネルギー利用効率が高く、CO₂も削減でき、電気と熱を有効に利用できるため、本計画で掲げた目標達成に大きく寄与できるシステムであると考え。また、レジリエンス機能（停電時発電継続機能）を備えた機種もあり、災害時の自助対応が可能である。さらにIoT化対応している機種もあり、HEMS等住宅でのエネルギー管理（見える化）に貢献することができる。これらのことも踏まえ、区民・事業者への経費の助成の継続を期待する。</p>	1	<p>省エネ機器等にかかる導入経費の助成については、普及の状況や技術の動向等を踏まえながら、対象機器等の見直しを行い、今後も推進してまいります。</p>
13	<p>温室効果ガス削減には「水素社会の実現」が必要不可欠だと考える。エネルギーの大部分を海外の化石燃料に依存している日本にとって、水素は「エネルギーの有効活用」や「エネルギー効率の向上」を通じて「エネルギー供給源の多様化」や「環境負荷の低減」に資すると考えられる。住宅での家庭用燃料電池の普及に</p>	1	<p>今後の技術動向や他自治体の取組み等を踏まえながら、検討してまいります。</p>

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
	<p>加え、運輸での燃料電池自動車の普及等、水素社会実現に向けた環境施策を期待する。</p> <p>まずは、公有車に燃料電池自動車を導入し、区民に広くPRしていくことが大切ではないか。</p> <p>なお、分散型エネルギーである家庭用燃料電池や、非常時の電力供給も可能な燃料電池自動車は「レジリエンス」「非常時対応」の観点からも重要・有益ではないか。</p>		
14	<p>集合住宅においては、マンション建替え時や、家庭用燃料電池等の低炭素化促進に資する設備を導入することによる容積率の緩和特例の周知を進めていただけることを期待する。</p>	1	<p>低炭素建築物の認定については、ホームページで周知を行っております。低炭素化の促進につながるよう、様々な制度と同様に周知を進めてまいります。</p>

(4)「基本方針3 気候変動への適応策の推進」について

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
15	<p>建物の屋根、壁の高反射化による遮熱、断熱は、地域全体で見ると、環境に貢献しないばかりか、歩行者等の眼にも悪影響を与えるので、規制すべき。</p>	1	<p>遮熱や断熱等については、省エネ対策としての効果が高いと認識していますが、その影響については、まだ不明な部分が多いため、今後の調査・研究の動向等を注視してまいります。</p>
16	<p>「3-1 ②緑化による温度上昇の抑制」については、策定済みの「みどりの基本計画」の推進や、自治体が策定できることになった「生物多様性地域戦略」の策定などを通して、計画的に進めて頂きたい。</p>	1	<p>「北区緑の基本計画」に基づき、取組みを進めております。また、平成31年度には改定する予定であり、今後とも計画的に取組んでまいります。「生物多様性地域戦略」の策定についても、検討を進めてまいります。</p>
17	<p>ヒートアイランドに対しては、風や気温などの気象観測・調査、風の道に配慮したまちづくり側からのアプローチなど、区が主体となっていくことは数多くあるため、計画に加えて頂きたい。</p>	1	<p>まちづくり側からのアプローチについては、「北区都市計画マスタープラン 2010」などに基づき、取組みを推進しております。</p>

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
18	樹木は、温暖化対策や防災の観点から重要であるとともに、地域の人々の思いが込められた貴重な財産でもある。樹木の選択や維持管理にあたっては、住民と協力して進めるべきである。	5	緑化の推進は、地球温暖化対策やヒートアイランド対策としての効果が見込めるため、他自治体の取組みも参考にしながら、区民と協力し、緑化の取組みをさらに推進してまいります。
19	「3-2 ①水害対策の普及啓発」の1つとして、垂直避難施設は協定の締結できた施設から順次、毎夏の水害シーズン前にハザードマップ上で公開し、区民への周知を図るべきである。現状ではどこが垂直避難施設になっているのかわからず、大変不安である。	1	区では、万が一安全な場所に避難する時間的余裕がない場合に垂直避難を勧めているため、ハザードマップ等に協定を締結している垂直避難施設を明示することで、区が垂直避難を積極的に推奨しているという誤解を招かないよう、現時点では具体的な施設名の公表を控えています。ご理解とご協力をお願いいたします。
20	水害対策の普及啓発については、区民が水防意識を日常的に持ち続けることが重要である。参加型のワークショップや被災地での災害ボランティア体験など、頭や体を使う体験を、社協やNPO・ボランティアぷらざ等とも連携して進めて頂きたい。	1	また、参加型のワークショップについては、既に防災セミナーにて実施しておりますが、引き続き、「北区地域防災計画」等に基づき、区民への普及啓発に努めてまいります。
21	「3-2 ②雨水流出の抑制」には、公園・緑地等の整備も有効なため、3-1 ②の施策の再掲をお願いしたい。	1	ご意見の趣旨を踏まえ、修正いたします。

(5)「基本方針4 エコ活動を支える人・コミュニティづくり」について

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
22	「4-2 ①学校との連携による環境教育の推進」として、これまで毎年、NPO・ボランティアぷらざが事務局となり、区立小学校で「環境展」が開催され、区内団体の展示や出前授業が行われている。今回、北区地域保健福祉計画（素案）に位置づけられ、開催の継続が期待できる見込みであることから、本計画にも位置づけをお願いしたい。	1	ご意見の趣旨を踏まえ、修正いたします。
23	荒川河川敷の「北区・子どもの水辺」は、北区を代表する重要な環境学習拠点であるため、エコベルデ・自然ふれあい情報館等	1	

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
	と同様に、環境教育の推進拠点として本計画に記載して頂きたい。		
24	「4-1 ①北区環境大学事業」は、リーダー育成コースのような講座（連続講座で全回参加が必須）以外に、気楽に参加できる講座等の開催もお願いしたい。	1	「北区環境大学事業」では、連続開催の講座以外にも、気軽に参加が可能な講座を開催しており、今後とも継続して開催してまいります。
25	大気や気象などの観測は、機器があれば区民や事業者が主体となっていくことができ、地球温暖化防止の意識を身を持って知るには最適な活動である。機器の貸与や財政的支援などを区として推進して頂きたい。	1	区民への地球温暖化の意識の啓発については、環境学習の講座等のなかで推進してまいります。
26	基本方針4 エコ活動を支える人・コミュニティづくり に期待します。地域の担い手となる環境リーダーと、小学校との結びつきは、どのようになっているのでしょうか。各小学校での環境学習の発表・交流の場のようなものはあるのでしょうか。	1	環境リーダーについては、ビオトープをきっかけとし、その管理や活用についての指導など各小学校にて行っております。本計画においても、「環境大学等卒業生の活躍機会創出」を施策として掲げておりますので、今後より多くの活躍機会の創出を図ってまいります。

(6) その他

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
27	高い建物等の夜間赤色灯は、周辺植物に悪影響を与えるので、建物高さを赤色灯の不要な高さに制限すべき。	1	ご意見として承ります。
28	建物大きさを今の時代状況に合わせて適切なサイズにすべき。	2	
29	低炭素化の実現には、タワーマンションなどの規制が必要だ。	1	
30	田端は、文豪の街や鉄道の街と紹介される魅力的な街だが、特徴が生かされていない。高齢化が進んでいる地区であるが、大学と連携して観光プランや地域振興プランを提案する「街づくりコンテスト」を実施してはどうか。	1	「北区中期計画」において、「まちづくりの一層の促進」や「東京オリンピック・パラリンピックを見据えた魅力発信」にも、積極的に対応することとし、取組みを進めております。

No.	意見の要旨	件数	区の考え方
31	北区の魅力をさらに発信し、「再訪したい街」から「安全で暮らせる街」にシフトしてほしい。	1	
32	2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、選手団や観光客に北区の魅力を発信し地域活性化につなげてほしい。	1	

6. パブリックコメントによる内容の修正箇所

掲載箇所	修正前	修正後								
33 ページ 6.1 施策の体系 施策の方向 1-3 主な施策	1-3 区民・事業者の連携の促進 ①カーボン・オフセット商品等の普及【新】 ②ごみの減量・3Rの促進【新】	1-3 区民・事業者の連携の促進 ①カーボン・オフセット商品等の普及【新】 ②ごみの減量・3Rの促進【新】 ③公共交通・自転車の利用促進【再】								
33、53 ページ 施策の方 4-3 ③	③区民主体のリサイクル活動の支援	③区民主体の環境活動の支援								
35 ページ 成果と目標 3 行目	<table border="1"> <tr> <td>HEMS 助成件数</td> <td>平成 29 年度開始</td> <td>増加</td> </tr> </table>	HEMS 助成件数	平成 29 年度開始	増加	<table border="1"> <tr> <td>HEMS 助成件数</td> <td>平成 29 年度開始</td> <td>累計 100 件</td> </tr> </table>	HEMS 助成件数	平成 29 年度開始	累計 100 件		
HEMS 助成件数	平成 29 年度開始	増加								
HEMS 助成件数	平成 29 年度開始	累計 100 件								
38 ページ 区の主な施策の概要	<table border="1"> <tr> <td>②ごみの減量・3Rの促進</td> </tr> <tr> <td>(省略)</td> </tr> </table>	②ごみの減量・3Rの促進	(省略)	<table border="1"> <tr> <td>②ごみの減量・3Rの促進</td> </tr> <tr> <td>(省略)</td> </tr> <tr> <td>③公共交通・自転車の利用促進</td> <td>再掲</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「施策の方向 1-1 主な施策④」の再掲</td> </tr> </table>	②ごみの減量・3Rの促進	(省略)	③公共交通・自転車の利用促進	再掲	「施策の方向 1-1 主な施策④」の再掲	
②ごみの減量・3Rの促進										
(省略)										
②ごみの減量・3Rの促進										
(省略)										
③公共交通・自転車の利用促進	再掲									
「施策の方向 1-1 主な施策④」の再掲										
41 ページ ⑤まちづくりと合わせたスマートコミュニティの形成	・再開発や公共施設の更新・整備等まちづくりの機会を捉えて、蓄電池や燃料電池等を総合的に組み合わせたスマートコミュニティや自立・分散型エネルギーシステムの構築等について検討を進めます。	・再開発や公共施設の更新・整備等まちづくりの機会を捉えて、蓄電池や燃料電池、 <u>コージェネレーション</u> 等を総合的に組み合わせたスマートコミュニティや自立・分散型エネルギーシステムの構築等について検討を進めます。								

<p>41 ページ 成果と目標 3行目</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="481 165 757 309">新エネルギー及び省エネルギー機器等の導入累計件数</td> <td data-bbox="757 165 981 309">253 件 (平成 28 年度実績)</td> <td data-bbox="981 165 1189 309"><u>増加</u></td> </tr> </table>	新エネルギー及び省エネルギー機器等の導入累計件数	253 件 (平成 28 年度実績)	<u>増加</u>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1276 165 1552 309">新エネルギー及び省エネルギー機器等の導入累計件数</td> <td data-bbox="1552 165 1776 309">253 件 (平成 28 年度実績)</td> <td data-bbox="1776 165 1984 309"><u>300 件</u></td> </tr> </table>	新エネルギー及び省エネルギー機器等の導入累計件数	253 件 (平成 28 年度実績)	<u>300 件</u>
新エネルギー及び省エネルギー機器等の導入累計件数	253 件 (平成 28 年度実績)	<u>増加</u>						
新エネルギー及び省エネルギー機器等の導入累計件数	253 件 (平成 28 年度実績)	<u>300 件</u>						
<p>48 ページ ②雨水流出の抑制 8 行目</p>	<p>・雨水浸透施設や雨水貯留槽を設置する区民に対し、その経費の一部を助成します。</p>	<p>・雨水浸透施設や雨水貯留槽を設置する区民に対し、その経費の一部を助成します。 <u>【緑化による雨水浸透面の確保】</u> <u>「施策の方向 3-1 主な施策②」の再掲</u></p>						
<p>52 ページ ②体験型の啓発事業等の推進 10 行目</p>	<p>・既設ビオトープ等を活用した環境教育を推進するため、指導者となるリーダーの育成及び案内板設置等、生きものとのふれあう機会の創出に努めます。</p>	<p>・既設ビオトープ等を活用した環境教育を推進するため、指導者となるリーダーの育成及び案内板設置等、生きものとのふれあう機会の創出に努めます。 <u>・「北区・子どもの水辺」をはじめとしたワンドの整備を通し生きものとのかわり方について学び、行動を促す取組みを進めます。</u></p>						
<p>53 ページ ③区民主体の環境活動への支援 6 行目</p>	<p>・一定の実績があり、集団回収に協力することなどを条件に事業者を認定する集団回収事業者認証制度により、区民が安心して継続して集団回収に取り組める体制を充実させていきます。</p>	<p>・一定の実績があり、集団回収に協力することなどを条件に事業者を認定する集団回収事業者認証制度により、区民が安心して継続して集団回収に取り組める体制を充実させていきます。 <u>・市民活動団体と連携を図り、小学生を中心とした子どもたちに、楽しく環境を学ぶ場を提供します。</u></p>						